

帯広市総合体育館 施設概要

(ネーミングライツ募集要項参考資料)

- 1 施設名称 : 帯広市総合体育館
- 2 所在地 : 北海道帯広市大通北1丁目1番地
- 3 供用開始日 : 令和2年2月29日(土) 予定
(※現施設の解体及び外構整備期間 :
令和2年1月1日から令和3年8月31日まで)
- 4 利用時間 : 午前9時から午後10時まで
- 5 休館日 : 第3月曜日、12月31日～翌年1月3日(年末年始)
- 6 施設概要 : 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 3階建
建築面積 8,752.52㎡、延床面積 14,874.04㎡
 - (1) メインアリーナ : 2,806㎡ (競技エリア 61m×46m)
観客席 : 2,883席
 - (1階) 1,280席 (可動席)
 - (2階) 1,603席 (固定席 1,122席、可動席 384席、
固定席(取り外し可) 69席、車椅子席 28席)収容人数 : 5,383人
 - (2) サブアリーナ : 1,268㎡ (競技エリア 24m×44m)
観客席 : 246席 (固定席 244席、車椅子席 2席)
収容人数 : 1,832人

(1) 館名看板 (外壁面) 設置イメージ①② (北東鳥瞰イメージ図)

① 東面 (国道241号側)

② 北面 (十勝大橋側)

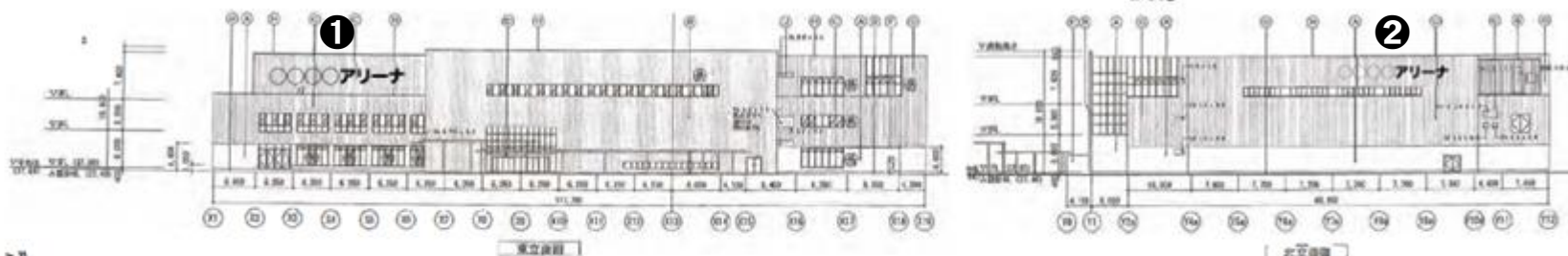
(1) 館名看板 (外壁面)

- ・表示サイズ : 各 W21,600mm×H2,000mm 程度
- ・設置予定個所 : ① 建物東面 (国道241号側)
② 建物北面 (十勝大橋側)
- ・参考見積額 : 各 2,000,000円 (一次電源供給可)
計 4,000,000円
- ・施工予定年度 : 令和元年度

館名看板（外壁面）設置イメージ

A01

ネーミングライト・サイン看板【昼間】
 W21600×H2000mm(奥面・北面ともに同サイズとする)
 点灯方式:LEDバックライト式



昼間のイメージ

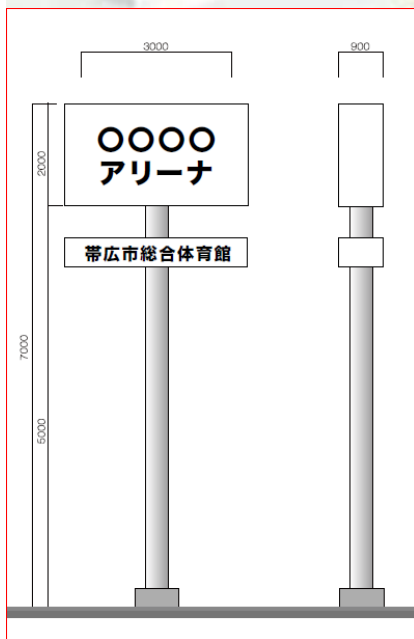
全体図



(2) ロードサイド・サイン看板 設置イメージ (南東鳥瞰イメージ図)

(2) ロードサイド・サイン看板

- ・表示サイズ : W3,000mm×H2,000mm 程度
- ・看板高 : H7,000mm 程度
- ・設置予定個所 : 国道38号及び国道241号交差点付近
- ・参考見積額 : 2,500,000円 (基礎含む、一次電源供給可)
- ・施工予定年度 : 令和3年度



参考：利用者数（実績）及び新施設の利用者数（見込）

（単位：人）

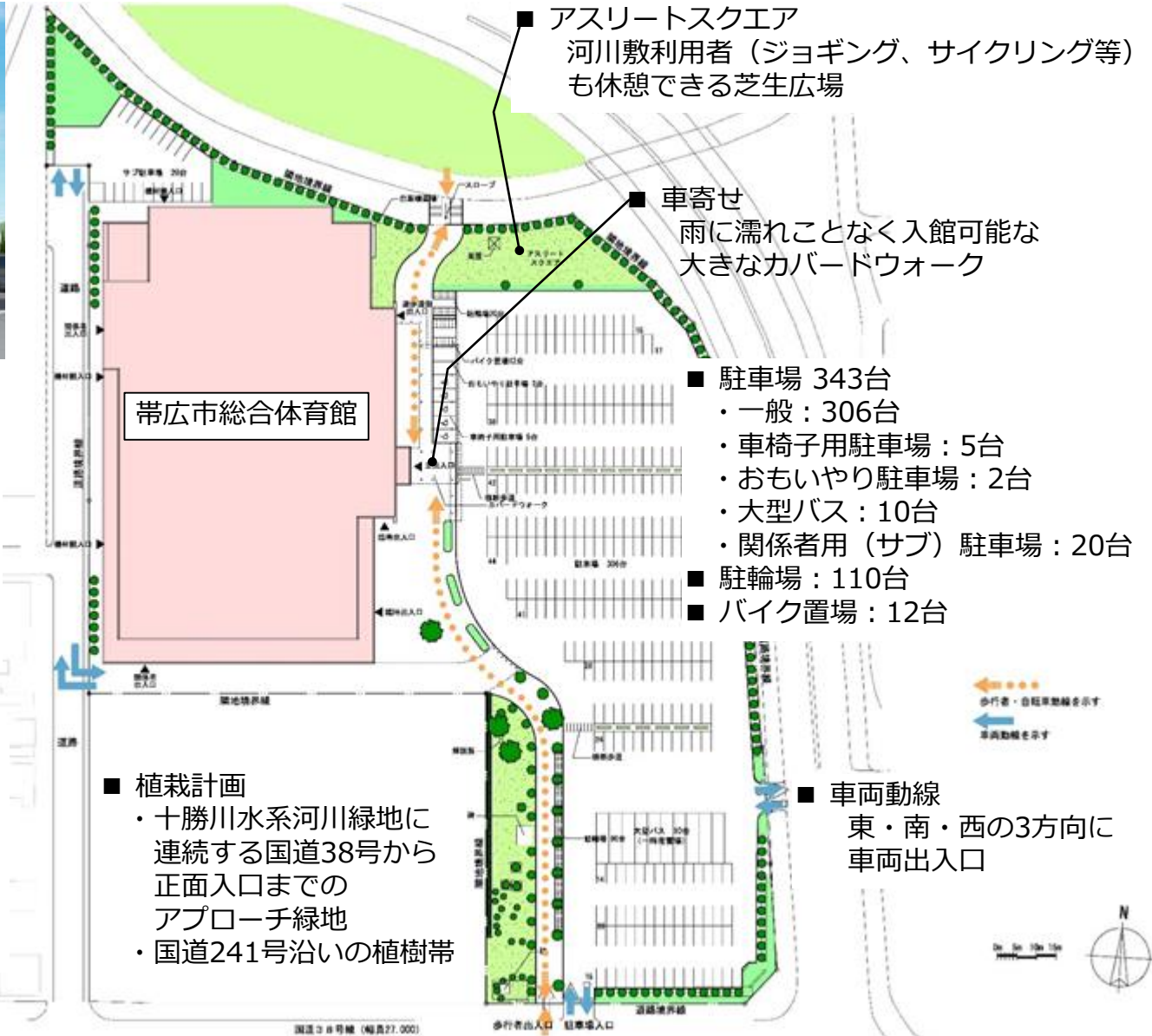
区分		現総合体育館の実績			新施設 （見込）
		2016年度	2017年度	2018年度	
専用 利用	利用者数	54,501	52,587	64,558	100,000
	観客	14,256	20,606	33,120	
	小計	68,757	73,193	97,678	
一般 利用	一般	15,904	16,351	14,811	65,000
	高校生	4,976	4,921	3,056	
	小中学生	13,593	13,652	15,738	
	高齢者	14,288	14,680	13,979	
	小計	48,761	49,604	47,584	
合計		117,518	122,797	145,262	165,000

外観・施設配置



外観デザインのベースは、十勝の特徴のひとつである「地平線」をモチーフにした水平ライン
 建物正面に大地の土をイメージしたレンガ壁、建物上部に日高山脈の雪景色、中央に十勝の移りゆく四季を映す金属板を施すことで「十勝らしさ」を表現

- 施設の供用開始予定日
 - ・ (一部) 令和2年2月29日(土)
 - ・ (全面) 令和3年9月1日(水)
- 現施設の解体及び外構整備
 - ・ 令和2年1月1日から
 - ・ 令和3年8月31日まで

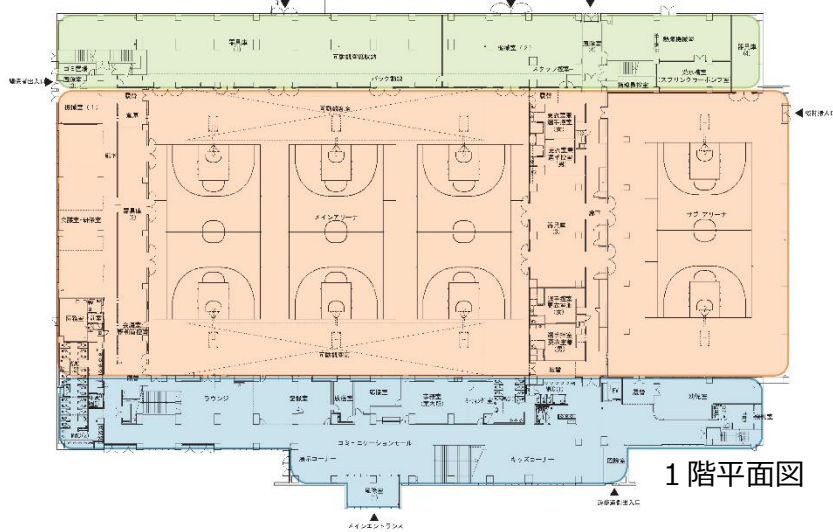


平面計画

- 1階の交流機能、1～2階の競技・イベント機能、3階の健康増進機能と機能毎に区分した明確なゾーニング計画

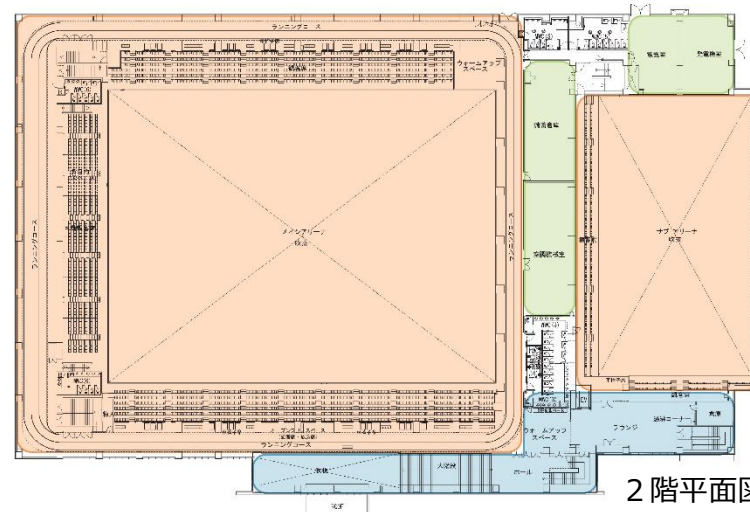
■ 交流機能ゾーン

多くの利用者が往来する東側に配置し、受付、ラウンジ、キッズコーナー、幼児室などを南北に伸びるコミュニケーションモールに配置



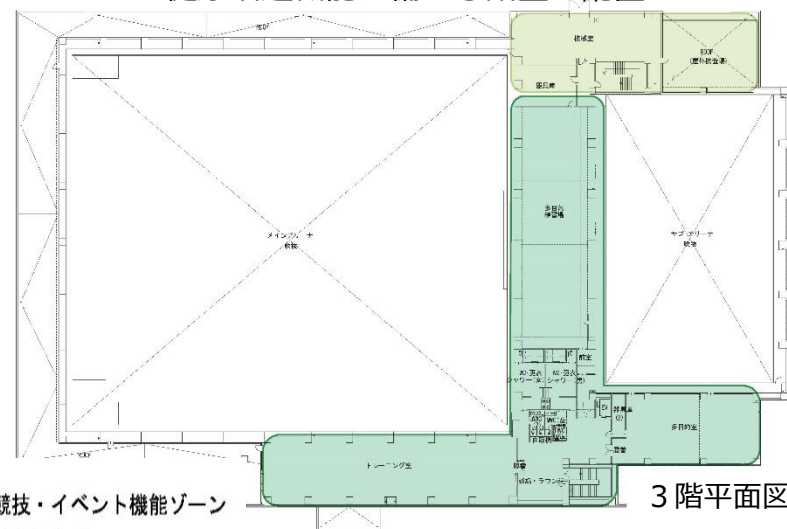
■ 競技・イベント機能ゾーン

- ・ 1階にアリーナ（メイン・サブ）を同一フロアに配置するほか、更衣室、会議室など選手や関係者が同一エリアで行動できるように各諸室を配置
- ・ 2階を観客席エリアとすることで、スポーツイベント時には、選手と観客が交錯しない選手動線を確認



■ 健康増進機能ゾーン

3階にトレーニング室、多目的室など健康増進機能が備わる諸室を配置



- 凡例
- :メイン動線・交流機能ゾーン
 - :競技・イベント機能ゾーン
 - :健康増進機能ゾーン
 - :後方機能ゾーン



1階平面図

■ 研修室(会議室)
4分割可能で多目的な利用が可能

■ プラットホーム
大型車両による搬入に対応したプラットフォーム

■ 可動観客席収納
可動観客席を集約して収納

■ 機材搬入口
メインアリーナへの搬入車両出入口

■ 機材搬入口
メインアリーナ・サブアリーナの両方から利用でき、兼用化することにより面積効率を高めた器具庫配置

■ 更衣室兼控室
メインアリーナ・サブアリーナの両方から利用しやすい位置にある更衣室兼選手控室(4室)
プロスポーツ利用時などには2室一体利用が可能

■ 会議・研修ゾーン
会議・研修ゾーンとして一体的利用可能
大会、興行時にはスタッフエリアとして利用

■ ラウンジ
アリーナの様子が伺える開放的なラウンジ
キッチンを設け、食育を通じた健康増進にも利用

■ 記録室
大会開催時以外は可動間仕切壁を開放することにより、ラウンジ、コミュニケーションモールと一体的な大きな空間として利用可能

■ 展示コーナー
スポーツ情報の掲示など
情報発信の場でもある展示コーナー

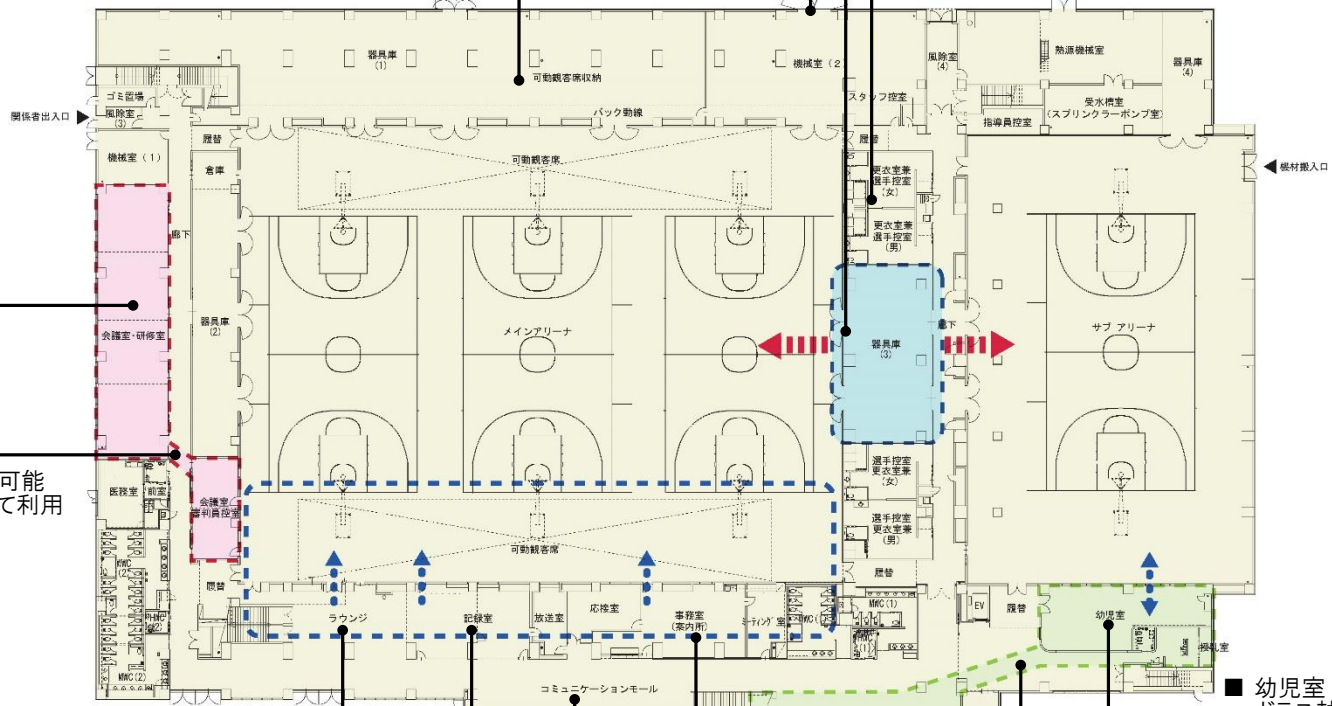
■ コミュニケーションモール
各エリアを結び情報交換の場でもあるコミュニケーションモール

■ 幼児室
ガラス越しに姿が見えることにより、親子共に安心できる幼児室(0~3歳)

■ キッズ・幼児ゾーン
このスペースのみでも利用したくなる
一体感のあるデザインのキッズコーナー、幼児室

■ キッズコーナー
遊びながら体づくりができるキッズコーナー(4歳~)

■ 事務室
メインエントランスの人の出入りが目視でき、メインアリーナの様子が分かる事務室



2階平面図

■ 多目的スペース
可動観客席を収納することで
多目的に利用可能なスペースを
確保

■ ランニングコース
・外の景色を眺めながら走れる一周263mの
ランニングコース
・興行時等には、大勢の観客がスムーズに
移動できる幅員(3m~4m)を確保

■ トイレ
分散配置することで混雑を緩和

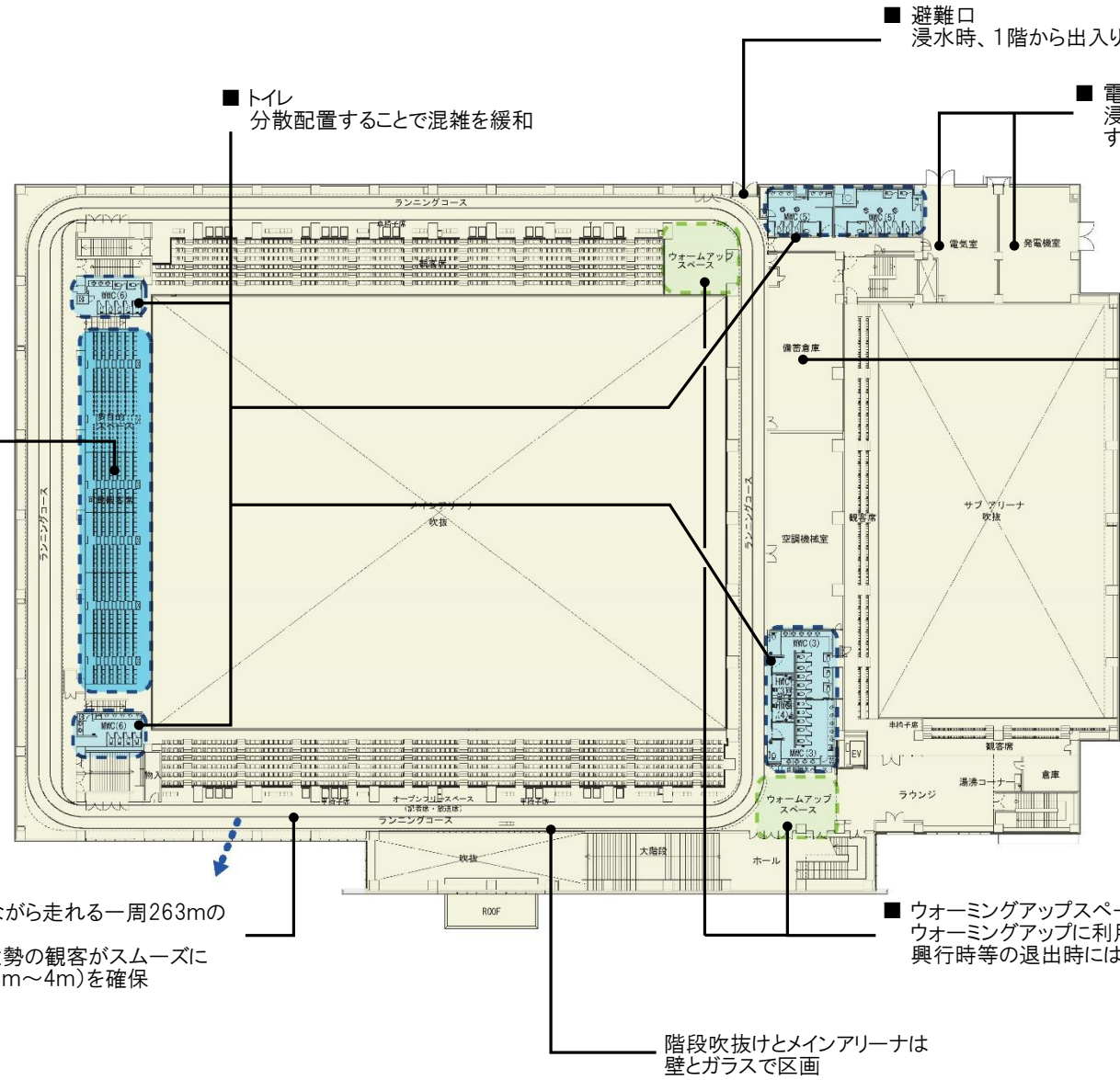
■ 避難口
浸水時、1階から出入りができない時の避難口

■ 電気室・発電機室
浸水時も最低限の機能維持を確保
するため、2階に配置

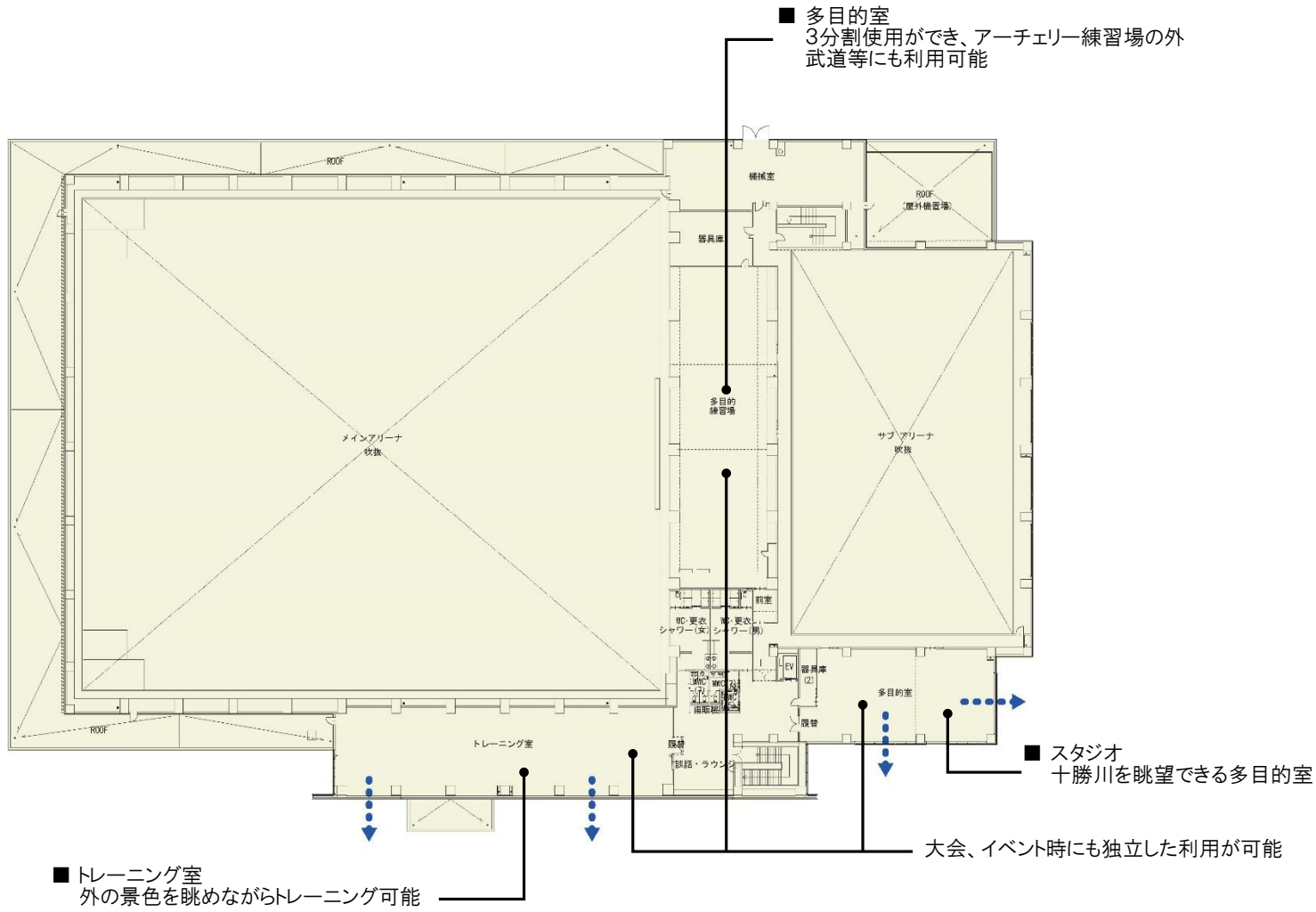
■ 備蓄倉庫
洪水時の浸水を考慮し2階に配置

■ ウォーミングアップスペース
ウォーミングアップに利用
興行時等の退出時には滞留空間として機能

階段吹抜けとメインアリーナは
壁とガラスで区画



3階平面図



メインアリーナ

- ・競技エリア：61m × 46m
- ・天井高：14m
- ・観客席：2,883席（1階：可動席1,280席、2階：固定席1,122席、可動席384席、固定席（取り外し可）69席、車椅子席28席）
- ・3分割利用が可能
- ・アリーナ中央部に放送室、記録室を配置



サブアリーナ

- ・競技エリア：24m × 44m
- ・天井高：15m
- ・観客席：246席（固定席（ベンチ）244席、車椅子席 2席）
- ・2分割利用が可能
- ・メインアリーナと同一フロアにあり、メインと合わせた大会、ウォームアップスペース、小規模大会会場として利用可能



(サブアリーナ使用例 イメージ)